

2023年4月24日

各位

ENEOSホールディングス株式会社

国内最大規模の地域共生型ソーラーシェアリング稼働に伴い ソーラーシェアリングの郷”^{そうさ} 匠瑳”アースデイパーティー開催！

当社（社長：齊藤 猛）が共同出資者として参画している合同会社匠瑳おひさま発電所（代表社員：市民エネルギーちば株式会社 宮下 朝光、以下「同社」）は、商業運転を開始した「匠瑳おひさま発電所」（千葉県匠瑳市）において、4月22日（土）に「ソーラーシェアリング[※]の郷“匠瑳”アースデイパーティー」を開催しましたので、お知らせいたします。

同社には、匠瑳市で「地域共生型ソーラーシェアリング」を実践してきた市民エネルギーちば株式会社（代表取締役：東 光弘）が中心となり、当社のコーポレート・ベンチャー・キャピタル（CVC）であるENEOSイノベーションパートナーズ合同会社（社長：長沼 亨）、株式会社匠瑳おひさま畑（代表取締役：椿 茂雄）、SBI エナジー株式会社（代表取締役：河原 武志）および株式会社アグリツリー（代表取締役：西 光）の5社が出資しております。また、株式会社千葉銀行から、ちばぎんSDGs リーダーズローン（グリーンローン型）によるサステイナブルファイナンスを実行しています。

ソーラーシェアリングとして国内最大級の発電規模を誇る本事業は、「地域共生型ソーラーシェアリング」として、匠瑳市の大規模な耕作放棄地等を実施農地として活用し、荒れ果てた畑を復活させて安定した農業運営に繋げ、雇用の増加・食料自給率の向上を目指します。また有機農作物栽培によるCO₂吸収効果が見込まれ、脱炭素・循環型社会の実現への貢献が期待されます。

当社は、今後も、再生可能エネルギーをはじめとした環境配慮型エネルギーの供給を積極的に推進し、持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）の目標7「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」、目標11「住み続けられるまちづくりを」、および目標13「気候変動に具体的な対策を」につながる脱炭素・循環型社会の実現に貢献してまいります。

※ソーラーシェアリング：同じ土地で発電と農業を同時に行う、営農型太陽光発電事業

【合同会社匠瑛おひさま発電所（特別目的会社） 概要】

名称	合同会社匠瑛おひさま発電所
所在地	千葉県匠瑛市
出資会社	<ul style="list-style-type: none"> ・市民エネルギーちば（匠瑛市で地域共生型ソーラーシェアリングを展開） ・ENEOSイノベーションパートナーズ（アグリツリー社と資本提携） ・匠瑛おひさま畑（農地所有者・認定農業者） ・SBI エナジー（ソーラーシェアリング展開） ・アグリツリー（ソーラーシェアリングの導入・サポート）
設立日	2022年4月22日

【匠瑛おひさま発電所 概要】

名称	匠瑛おひさま発電所
所在地	千葉県匠瑛市
発電容量	約AC1,920kW（約DC2,702kW）
敷地面積	約64,500㎡
商業運転開始日	2023年4月1日
（参考）栽培予定作物	有機大豆、有機麦類

【発電所写真】



【ソーラーシェアリングの郷” 匠瑛” アースデイパーティー開催の様子】



(左から3番目) 同発電所 職務執行者 宮下 朝光

(左から9番目) 当社常務執行役員 藤山 優一郎

以上